

平成27年度 第2回上小阿仁村総合教育会議 議事録（要点）

- 1 日 時 平成28年1月26日（火）
開会：13:30 閉会：15:00
- 2 場 所 上小阿仁村生涯学習センター 2階 第1研修室
- 3 出席者
- | | | |
|-----|-----------------|-------|
| 構成員 | 上小阿仁村長 | 小林悦次 |
| | 上小阿仁村教育委員会 教育長 | 高橋充 |
| | 委員 | 保坂康雄 |
| | 委員 | 小林幹子 |
| | 委員 | 伊藤勉 |
| | 委員 | 武石ヤス子 |
| 事務局 | 上小阿仁村教育委員会 事務局長 | 小林隆 |
| | 係長兼総務学校班長 | 高橋舞子 |
- 4 傍聴者等 傍聴者 3人 報道機関 1社
- 5 議 事 (1) 平成27年度4月から12月までの教育委員会の主な動き
(2) 平成28年度の主な施策（案）について
- 6 議事の経過（要点）

13:30 定刻通り開会し、村長のあいさつの後協議に入った。

(1) 平成27年度4月から12月までの教育委員会の主な動きについて、教育長が報告し意見交換を行った。主な意見・質問は次のとおり。

○教育委員会が主催していない関連団体主催の行事も報告している。(回答:関連として報告した。)

○全国学校給食甲子園で本村調理場が準優勝したことは大変喜ばしい。多方面からの協力があつて非常に良いチームワークだった。

○全国学校給食甲子園準優勝メニューのレシピ等を紹介することはできないか。(回答:可能であれば道の駅等で商品化できないか検討している。) ※調理場職員が負担とならないよう配慮するよう付帯意見があつた。

○村民登山はどのような状況となっているのか。登山ブームとなっているので婚活での開催も考えてみてはどうか。(回答:山岳会スタッフ以外の一般参加者のほとんどは村外の方となっている。婚活については村全体で考えなければならない。)

(2) 平成28年度の主な施策（案）について、事務局長が説明し意見交換を行った。主な意見等

は次のとおり。

○生活サポートを入れたりTTを使ったりして、下位層に対して手厚くしているが上位層を更に伸ばすような方策も必要ではないか。(回答：少人数を活かし下位層へ手厚くしているが上位層にもぜひ伸ばす方向でやりたい。)

○生活サポートを入れていることは良いが、どこまで関わるかが課題ではないか。(回答：その通り。サポーターが何でもやってしまうと子供が成長しない。どこまで手をかけてやって、どこから子どもにやらせるという判断が難しい。)

○学校からの要望に応じてとの説明だが、学校に行ってみるといろいろな面で恵まれているように思う。具体的にはどのような要望か。(回答：教職員のパソコンの更新とグラウンドの改修工事及び小さな修繕工事となっている。予算的な制約があるため優先順位をつけて年次計画により実現できるように努力したい。)

○八木沢番楽保存会から一般の方が伝承してくれないかとの意見であるが、小中学校までは一生懸命やるが、高校に進学してしまうと関わりがなくなってしまう。八木沢番楽に限らず大林獅子踊りについても同様である。何かよい方策はないか。(回答：折角小中学校で民族芸能を教わっても、高校生になると部活動や学習が忙しく、呼びかけを行ってもなかなか参加できない状況となっている。村内の若者の数も減っており難しい状況となっている。)

○バスの定期券補助について、下校時間が通常と違う場合に利用できるバスがなく、スポ少活動後、保護者が迎えにきているなどにより十分に活用されていないので、スクールバスにするなどの可能性はないか。(回答：バス会社の路線維持の側面が強く、通学に使わなくなるとバス路線そのものが廃止されかねず他方面への影響がある。)

その他

○教育大綱の中で幼児教育の充実とあるが、保育園に一度入園したものの事情により辞めてしまった子どもがいて、大綱に沿わない状況となっているがその対応は。(回答：大綱では保育園と小学校が円滑に接続することを想定している。しかし、実際に保育園に入園していない子がいるので個別に何ができるか検討したい。)

○第1回総合会議でも話したが、教育委員会の職員が足りないので配置をお願いしたい。(回答：村職員の総合的な部分があるので検討したい。)

15：00 協議が終了したため閉会宣言を行った。